

バリシップ2023 開催報告集

令和5年(2023年)
5月25日(木)~27日(土)

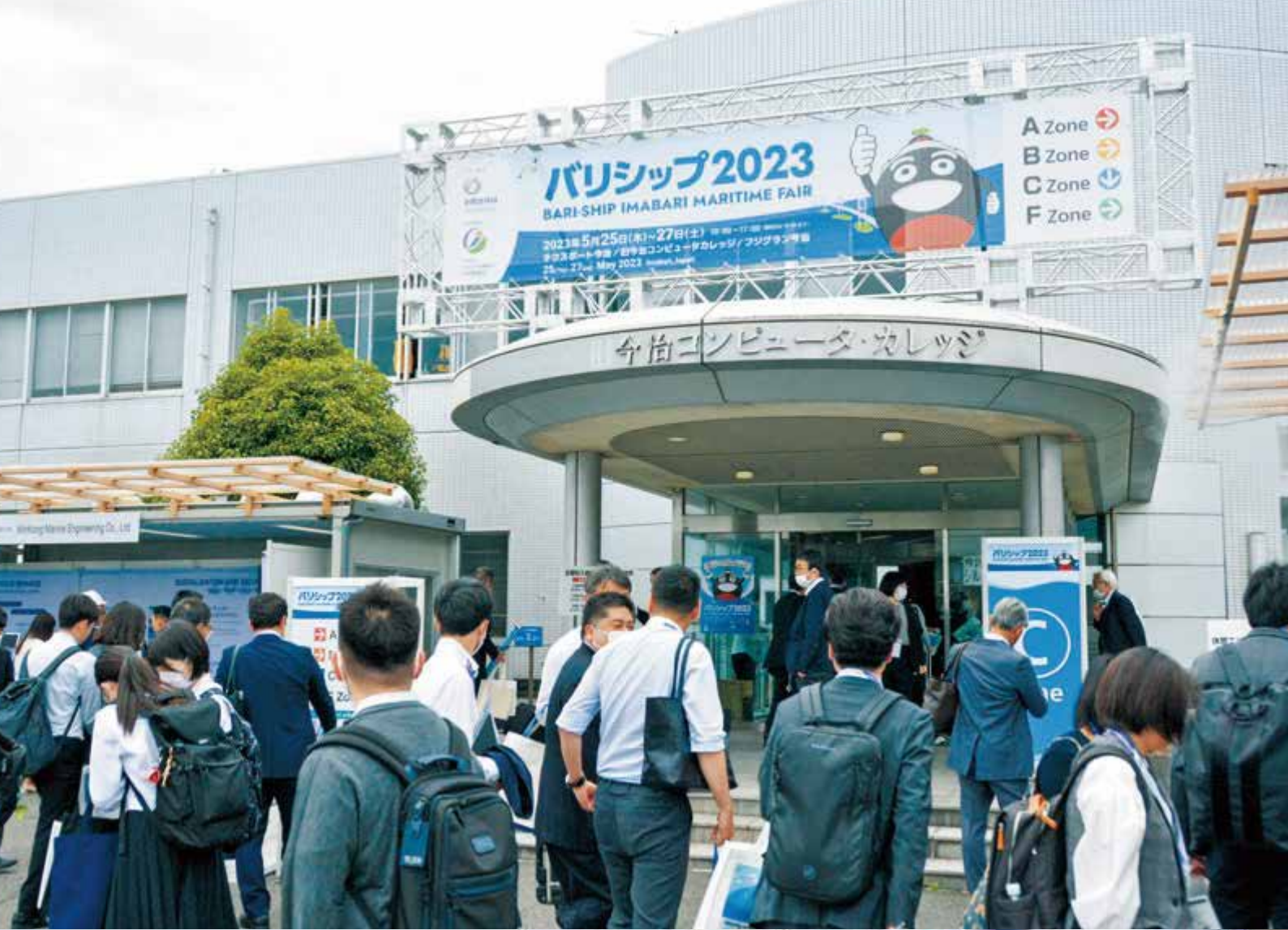
BARI-SHIP 2023 IMABARI MARITIME FAIR REPORT

May 25 (Thu) – May 27 (Sat), 2023

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION



今治市海事都市交流委員会
IMABARI MARITIME CITY PROMOTION COMMITTEE



検査を通して船の安全と海の環境を守ります

ClassNK CHARTING THE FUTURE

日本海事協会

CONTENTS

02 ごあいさつ

今治市海事都市交流委員会 会長 檜垣 幸人

今治市長 徳永 繁樹

インフォーマジャパン株式会社 代表取締役社長 クリストファー・イブ

04 バリシップ2023 開催スケジュール

05 バリシップ2023 開催告知ポスター

06 バリシップ2023 開催に向けた活動

07 バリシップ2023 開幕

08 バリシップフォーラム2023/特別セミナー

09 ウェルカムパーティー/バリシップ2023のテーマ

10 バリシップ展示会場/展示会場一般公開

11 工場見学会 (今治造船)

12 工場見学会 (新来島どっく)

13 工場見学会 (檜垣造船)

14 工場見学会 (潮冷熱)

15 工場見学会 (BEMAC)

16 工場見学会 (眞鍋造機)

17 バリシップサブイベント

“ビジネスデー体験イベント”

“海の仕事へのパスポート”

“ドリームバリシップファクトリー”

“フネージョ☆魅力発見ツアー”

“海洋教育体験イベント”

“船の見学会”

19 バリシップ見学会参加者感想文 (小・中学生)

23 参加者まとめ

ごあいさつ

GREETINGS

今治市海事都市交流委員会

会長 **檜垣 幸人**



「バリシップ2023」が関係各位の多大なるご支援、ご協力のもと盛大に開催できましたことを、今治市海事都市交流委員会と地元海事産業界を代表いたしまして、厚く御礼申し上げます。

ここ数年の間に、海事産業界を取り巻く環境は大きく変わり、2050年のカーボンニュートラルの達成に向けた新燃料の検討、生産性や安全性の向上に資するデジタル技術の開発・導入等の多くの課題を抱えております。これらの課題を大きなビジネスチャンスに変え、海事産業の更なる発展に貢献するべく、今治市海事都市交流委員会では精力的に「バリシップ2023」の開催準備を進めて参りました。

展示会については実に4年ぶりの開催となりましたが、「バリシップ2023」では15の国から過去最多の351社が出展され、「未来の船がここにある」をテーマに、環境対応やデジタル技術等を中心とした最先端の技術が今治に集結しました。

各社のブースが来場者で大いに賑わっている様子によろしく「バリシップ」が今治に戻ってきたなという思いをいたしましたところ です。

会期中は展示会場のみならず、セミナー会場や今治国際ホテルで開催された「バリシップフォーラム2023」も大変盛況であり、この「バリシップ」を通じて、海事産業界が持つ旺盛なエネルギーを来場者の皆様とともに共有することができたことを嬉しく思います。

「バリシップ」の特徴でもある3日目の展示会場の一般公開では、出展社をはじめとする関係者皆様のご協力により、多くの子どもたちや市民の方々が来場され、展示会場の雰囲気を楽しんで頂きました。

また、市内の造船・船用工業6社による工場見学会も大盛況であり、海事産業の現場やものづくりのスケールの大きさを体感して頂いたことと思います。今回はこの他にも、海事関係の業界団体や教育機関等と連携し、船の見学会や海事産業に関する学習イベントを多数開催しました。

これらのイベントが、将来子どもたちが職業を選択する際の一助となり、海事産業界を目指すきっかけになることを大いに期待しております。

この度、大いに賑わった「バリシップ2023」の様子を皆様とともに振り返り、これからの活動に繋げるためのステップとするため、開催報告集を発刊する運びとなりました。

「バリシップ」が海事産業に携わる皆様にとって、ビジネスチャンスのお場そして交流のお場として益々、魅力あふれる展示会に発展することを心より祈念しております。

今後とも、皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



この度、7回目となる「バリシップ」が開催され、大盛況のうちに幕を閉じました。開催にあたりご支援とご協力を賜りました関係者の皆様とご来場された皆様に、心より感謝申し上げます。

展示会の開催は実に4年ぶりとなりましたが、主催者と地元企業そして地元自治体が一致団結して準備を進め、プロモーション活動も精力的に行って参りました。

蓋を開けてみれば、出展社数、来場者数ともに過去最高という結果となり、改めて海事産業界の活力を実感するとともに、「バリシップ」に対する皆様の温かなご支援に感謝しております。

さて、海運・造船・船用工業をはじめとする海事産業は、本市にとって地域の経済と雇用を支える基幹産業であることは言うまでもありませんが、昨今のコロナ禍や世界情勢により、我が国の物流を支えるライフラインとしての役割が再認識されました。

そのような中で、海事産業を支える人材の確保は長年の課題であり、2050年の

カーボンニュートラル達成に向けて船舶の代替需要が増大することが見込まれる今後においては、更なる人材不足も予想されます。

「バリシップ」では初回より次世代の人材確保・育成に産学官が連携して取り組んでおり、今回の「バリシップ2023」においても、海事関連企業や業界団体の皆様と力を合わせ、展示会場と工場の一般公開、市内造船所で建造された船の見学会等の多彩なイベントを開催しました。

これらのイベントに参加した多くの子どもたちが海や海事産業に魅力を感じてもらい、やがて海事産業界の第一線で活躍してくれる日が来ることを期待して止みません。

これからも本市は業界の皆様とともに、海事産業の更なる発展に向けて取り組んで参ります。

最後になりますが、「バリシップ」の益々のご発展を心より祈念申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。



初めに「バリシップ2023」の開催にあたり、ご協力頂きましたすべての方々に、心より御礼申し上げます。

今回の「バリシップ」は、4年ぶりの開催で、展示規模、出展社数、来場者数、いずれも過去最高を記録しました。5月25日から27日の3日間で、展示ホールとセミナールームにおいて、連日様々なイベントが行われました。また日本を代表する海事業界関係者による講演“バリシップフォーラム2023”にも、多くの方にご参加頂き、おかげさまで高い評価を受けております。

「バリシップ」は日本の造船技術、海事技術を一堂に集め、海事産業の重要な国際展示会としての役割を担っています。海外からの来場者が増加に伴い、主催者として「バリシップ」を開催することで、今治市は

日本の海事業界の中心地であることを、全世界にアピールできていると感じています。

このイベントを開催するにあたり、「バリシップ」および今治市のPRに加えて、ご参加頂いた学生たちが、「造船」と「海運」という仕事に興味を持ってくれること、そして将来関わって頂けることを私は願っています。そのためにも、国内外の海事関係者だけではなく、もっと幅広い年齢層や業界にアプローチできる展示会にしたいです。

「バリシップ2023」の成功のために貴重なご助言、ご協力、そしてご支援をくださった方々へ御礼を申し上げるとともに、私はすでに2025年5月に開催される「バリシップ2025」の会場で、皆様にお会いできることを心から楽しみにしています。

バリシップ2023開催スケジュール

BARI-SHIP 2023 SCHEDULE

日程	行事名	内容	時間	場所	
25日 (木)	バリシップ2023	開会式	9:30~10:00	テクスポート今治	
		バリシップ2023展示会	10:00~17:00	テクスポート今治・旧今治コンピュータカレッジ・フジグラン今治	
		特別セミナー	10:30~16:40	旧今治コンピュータカレッジ2階 特別セミナー会場	
		バリシップフォーラム2023	12:45~16:00	今治国際ホテル2階 クリスタルホール	
		ウェルカムパーティー	18:30~20:30	今治国際ホテル2階 クリスタルホール	
	バリシップ2023 サブイベント	ビジネスデー体験イベント	10:00~16:00	テクスポート今治他・各社工場	
		海の仕事へのパスポート	—	乃万小学校・宮窪小学校	
26日 (金)	バリシップ2023	バリシップ2023展示会	10:00~17:00	テクスポート今治・旧今治コンピュータカレッジ・フジグラン今治	
		特別セミナー	10:30~16:45	旧今治コンピュータカレッジ2階 特別セミナー会場	
		バリシップフォーラム2023	13:00~16:30	今治国際ホテル2階 クリスタルホール	
	バリシップ2023 サブイベント	ビジネスデー体験イベント	10:00~16:00	テクスポート今治他・各社工場	
		海の仕事へのパスポート	—	常盤小学校・別宮小学校	
27日 (土)	バリシップ2023	バリシップ2023展示会(一般公開日)	10:00~16:00	テクスポート今治・旧今治コンピュータカレッジ・フジグラン今治	
	バリシップ2023 見学会	工場見学会	9:00~15:00 (最終入場14:30)	今治造船本社工場・新来島どっく大西工場・ 檜垣造船波方工場・BEMACみらい工場・ 潮冷熱新都市工場・眞鍋造機波止浜工場	
		船の見学会 (おりんぴあどりーむせと・SIM-SHIP1)	10:00~16:00	今治港中型フェリー乗り場	
		弓削商専・波方短大オープンキャンパス	10:00~15:00	おりんぴあどりーむせと内	
	バリシップ2023 サブイベント	フネージョ☆魅力発見ツアー	9:20~16:30	バリシップ展示会場・今治造船本社工場・ 新来島どっく大西工場	
		ドリームバリシップファクトリー	9:00~18:15	今治港はーばりーみなとホール	
		海洋教育体験イベント(東海大学)	10:00~16:00	今治港はーばりーピロティ	
		海事産業×デジタルで未来を考える セミナー	11:00~12:00	旧今治コンピュータカレッジ2階 特別セミナー会場	
	28日 (日)	バリシップ2023 サブイベント	ドリームバリシップファクトリー	9:00~15:15	今治港はーばりーみなとホール
			海洋教育体験イベント(東海大学)	10:00~16:00	今治港はーばりーピロティ



BARI-SHIP
IMABARI MARITIME FAIR

バリシップ2023

BARI-SHIP IMABARI MARITIME FAIR



未来の船が、ここにある。

バリシップ2023見学会 5月27日(土) 1日限り

一般公開 **参加費無料** **会場: テクスポート今治ほか**

国際海事展は5月25日(木)~27日(土) 感染対策に万全を期して皆様のご来場をお待ちしております。

政府の対応方針を踏まえ、日本展示会協会が定めたガイドラインに基づく感染対策を徹底して開催いたします。

問合せ先

今治市海事都市交流委員会事務局(今治市産業振興課内)

〒794-8511 愛媛県今治市別宮町一丁目4番地1

TEL: 0898-36-1540 FAX: 0898-33-8066

E-Mail: kajiji@imabari-city.jp <https://www.city.imabari.ehime.jp/kajiji/bariship2023>

バリシップ特設サイト



音社工場見学会 5月27日(土) 9:00~15:00 (最終入場 14:30)



バリシップ展示会場 5月27日(土) 10:00~16:00



はーばりー会場 5月27日(土) 28日(日) 10:00~16:00



バリシップ2023 開催に向けた活動

ACTIVITY FOR HOLDING BARI-SHIP 2023 IMABARI MARITIME SHOW

バリシップ2023開催発表



■世界に向け「海事都市今治」を発信

2022年4月、東京ビックサイトで開催された国際海事展「SEA JAPAN2022」において、「バリシップ2023」の開催発表を行いました。

また、会期中には海事都市今治ブースを出展し、今治に集積する海事関連企業のスケールを国内外からの来場者に対してPRしました。

来場者からはバリシップに関する質問が多くなされ、改めてバリシップの認知度が高まっていることを実感しました。



バリシッププレイイベント



■市民に海事産業の魅力をPR

今治港開港100周年記念事業「みなとフェスティバル100」の一環として、バリシップ2023と海事産業をPRするため、プレイイベントを実施しました。

今回は市内企業にご協力を頂き、小中学生向けに「海の体験学習会」と、大学・高校生向けに「海の課題発見チャレンジ」（課題探究型学習イベント）をそれぞれ実施しました。

「海の課題発見チャレンジ」では、県内の高校生たちが自ら設定した海事産業に関する課題について、市内企業でのフィールドワークで身に付けた知識を活かして解決方法を検討し、その成果を発表しました。

【海の体験学習会 出展ご協力企業】

今治造船(株)、(株)新来島どっく、BEMAC(株)、眞鍋造機(株)

【海の課題発見チャレンジ フィールドワークご協力企業】

今治造船(株)、潮冷熱(株)、(株)新来島どっく、日鮮海運(株)、BEMAC(株)、檜垣造船(株)



東京PR活動



■4年ぶりの開催を精力的にアピール

2023年2月、国土交通省や関係する国会議員の先生方に対して、今治市海事都市交流委員会のメンバーが揃って「バリシップ2023」のPR活動を実施しました。

約4年ぶりの開催となる「バリシップ」をオール今治で盛り上げていくことを精力的にPRしました。



オープニングセレモニー



■ 待ちに待ったバリシップがついに開幕

2023年5月25日、約4年ぶりに「バリシップ」が今治に帰ってきました。

開場を待ち侘びた大勢の来場者が見守る中、インフォーママーケットジャパン(株)のクリストファー・イブ代表取締役社長による開会挨拶から始まったオープニングセレモニー。

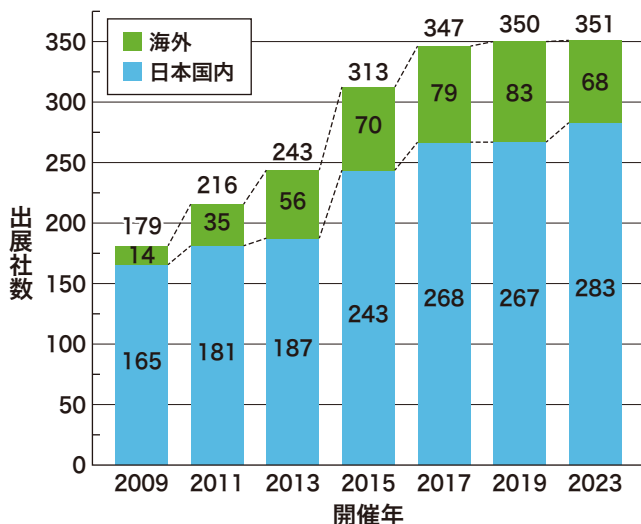
次世代の海事人材育成を開催目的の一つに掲げる「バリシップ」では、今回も地元吹揚小学校の児童2名にもテープカットに参加して頂き、3日間の会期がついに始まりました。

回を重ねるごとに規模が拡大している「バリシップ」ですが、今回も国内外より多くの出展社が集まりました。

■ バリシップの開催目的

- ① トレードショーを核としながら「一大海事産業の現場を擁する今治らしさ」を前面に出した国際海事展を開催し、海事都市今治から先進の技術を発信する。
- ② 次世代の海事人材育成を目指した海事啓発イベントを行う。
- ③ 最終日は今治を海事一色に染める。
- ④ バリシップで海事産業が元気に!!

開催年別出展社数の推移



バリシップフォーラム2023



■ 経営者の戦略を学ぶ貴重な機会

5月25、26日の2日間にわたって今治国際ホテルで開催されたバリシップフォーラム2023(旧国際会議)では、今回も海運・造船・船用の各分野のトップがパネラーとして登壇しました。

市況変動が激しい海事産業界を生き抜いていくための経営戦略を学ぶ貴重な機会に、数多くの海事関係者が熱心に耳を傾けていました。今回の参加者は延べ1,300人にも達しました。



また、恒例の基調講演は、商船三井の池田潤一郎会長、そして特別講演には、パワーエックスの伊藤正裕社長と愛媛銀行の西川義教頭取という海事産業界を様々な観点から支えるリーダーが登壇し、将来の海事産業界を見据えた具体的なビジョンが示されました。



バリシップ特別セミナー



■ 業界の最新情報が収集できる特別セミナー

バリシップ展示会場でも、海事業界を取り巻く最新トレンドや課題をテーマとしたセミナーを開催し、今回も

多くの聴講者が訪れました。

中でも、日本船用工業会、日本海事協会と海上技術安全研究所による環境規制の動向、自動運航船等のデジタル化やこれらに対応する技術開発の状況等についてのセミナーは、関係者の関心度も高く、注目を集めました。

また、各社が新製品等を紹介する出展社プレゼンテーションも各回立ち見の方が出るほどの盛況で会場が熱気に包まれていました。



学生向け特別セミナー



■ 「海事産業×デジタル」で未来を考えるセミナー

次世代人材育成の一環として、学生向けのセミナーを開催しました。

第1部では、東海大学の山田吉彦教授より「海事産業が社会に果たす役割」について、魚の養殖や排他的経済水域等の幅広い観点から講演して頂きました。

第2部では、2023年より今治でプログラミングスクール等を運営するSUNABACOの中村まこと代表取締役より「DXが海事産業にもたらす影響」について、他産業における事例紹介を交えながら海事産業の今後の発展性について講演して頂きました。

当日は地元中学生や保護者が多く出席しており、海事業界への興味を持ってもらう貴重な機会となりました。



ウェルカムパーティー

WELCOME PARTY

ウェルカムパーティー



■ 海事都市を象徴する華やかな交流会

ウェルカムパーティーは、今治市海事都市交流委員会が主催するバリシップ関係者の交流会です。当日は国内のみならず、世界各地の海事関係者が参加し、和やかな雰囲気の中で親睦を深めて頂きました。

今回のパーティーには800人を超える参加者が集まり、海事都市今治の夜は大いに盛り上がりました。



アトラクション



アトラクション



主催者代表挨拶
樽垣 今治市海事都市交流委員会会長

来賓代表挨拶
徳永 今治市長



乾杯
村上 今治商工会議所副会頭

中締め挨拶
村上 今治市海事都市交流委員会副会長

バリシップ2023のテーマ

BARI-SHIP 2023 THEME

■ 「未来の船がここにある」

2050年のカーボンニュートラル達成に向けた新エネルギーの導入、生産性や安全性向上を図るためのデジタル技術の開発、そして現場を支える人材の確保・育成等、海事産業は多くの課題を抱えるとともに、大きな転換期を迎えています。

今回のバリシップでは、これらの課題解決に必要な最新技術や製品が各社より発表・展示されました。

会場内の各ブースに、多くの来場者が訪れ、活発な商談や意見交換が行われる等、大いに盛り上がりました。



バリシップ展示会場

BARI-SHIP EXHIBITION VENUE

西日本最大の国際海事展



■首都圏開催と遜色ない開催規模

今回で7回目となるバリシップは、出展社が過去最多の351社となったほか、5月25日・26日のビジネスデーの入場者数も過去最高を記録。2022年4月に東京で開催された「SEA JAPAN 2022」の入場者数に引けを取らない結果となりました。



展示会場一般公開

OPEN TO PUBLIC



※バリシップ見学会シャトルバスは、「一般社団法人日本中小型造船工業会」の助成を受けて運行されました。

バリシップならではの 市民参加型の国際海事展



■次世代の「担い手」育成に向けて

バリシップ2023の最終日となる5月27日には恒例の「バリシップ見学会」が開催され、普段はビジネス客しか入ることのできない展示会場が一般公開されました。

国際海事展として世界有数のスケールを誇るようになった「バリシップ」の開催目的の一つである次世代の海事人材育成を目指した海事啓発イベントとして行われる「バリシップ見学会」は、我が国を支える海事産業のスケールや技術力を誰もが実感できるイベントであり、他の展示会にはない「バリシップ」だけのイベントです。

前日まで熱心な商談が行われていた展示会場とは打って変わり、この日は多くの親子連れが各ブースに立ち寄り、操船シミュレーターで船の操縦体験をしたり、ろうそくの炎で進む「ポンポン船レース」を楽しんだり、缶バッジを作ったりと、大いに賑わいました。

今治市海事都市交流委員会では、子どもたちに海や船への関心を持ってもらうため、海事都市今治を「見て」「触れて」「知って」もらう取り組みを行っており、市民参加型という唯一無二のコンセプトは、回を重ねるごとに多くの市民や子どもたちに受け入れられ、今回も大盛況のうちに幕を閉じました。



工場見学会 (今治造船)

FACTORY TOUR (IMABARI SHIP BUILDING)

本社工場見学会



■造船所全体がテーマパーク

今治造船の工場見学会では、広い構内全体がイベント会場となり、各所で様々なイベントが開催され多くの方が訪れていました。

今回も盛大な餅撒きでイベントがスタートし、毎回人気の命名受渡式を体験できる模擬式典では餅撒きのお菓子の中に紛れていた「当たり券」を手にしたお子様が支網切断体験をしました。

また造船所ならではの設備を利用したアトラクションも人気で、工場建屋の天井クレーンを使ったUFOキャッチャーや高所作業車の乗車体験なども思う存分楽しんでいました。

今年は6万4千トン積み のばら積み貨物船船見学が行われ、来場者は普段間近で見ることができない船の大きさに圧倒されながらも、船内見学を満喫していました。



工場見学会（新来島どっく）

FACTORY TOUR (SHIN KURUSHIMA DOCKYARD)

大西工場見学会



■巨大船を渠底から見学

新来島どっくの工場見学会では、自社の代名詞とも言える自動車運搬船を建造しているドックが公開されました。

建造中の自動車運搬船は、従来の燃料よりもCO₂排出が少ないLNGを燃料とする、地球環境に配慮した船舶です。

今回の見学会ではドックの下（渠底）まで開放されており、参加者は船を真下から見上げることができ、ドックの幅とほぼ同じくらいの大きさの船は迫力満点でした。

他にも船のブロックや工場内の建屋も見学することができ、市内随一の広さを持つ造船所のスケールの大きさを感じる見学会でした。



工場見学会 (檜垣造船)

FACTORY TOUR (HIGAKI SHIP BUILDING)

波方工場見学会



■ 完成間近の船を見学

檜垣造船の工場見学会では、完成間近の新造船と組立工場が一般開放されました。

波方工場では進水した新造船の仕上げ工事を行っており、この日はあと数週間後に完成する新造船が公開されました。船内はどこもピカピカで最新鋭の船舶の設備に参加者は釘付けとなりました。

工場見学は参加者に必ず案内役のスタッフが付く形で実施されたため、参加者は色々と質問を投げかけながら楽しく見学することができました。

また、工場内では数字や文字の形に切り抜かれた鉄板が飾られ、造船所が持つ技術力の高さを改めて体感することができ、造船所を初めて訪れた参加者も大満足のイベントでした。



工場見学会 (潮冷熱)

FACTORY TOUR (USHIO REINETSU)

新都市工場見学会



■ 風の力を感ずる多彩なイベント

潮冷熱の工場見学会では、社屋と工場を周遊できるスタンプラリーが開催されました。

社屋では、「風」をテーマにバルーンによるウェルカムアートが来場者をお出迎えしました。

屋外では当社が国内トップシェアを誇るスポットクーラの体感展示、子どもたちに人気のトイドローンの操縦体験など多彩なイベントが開催されました。

中でも人気を集めたのが「おさんぽペンギン」。当日は多くの家族連れが県外から駆け付けてくれたペンギンたちと写真撮影をする等、子どもから大人まで大満足な見学会となりました。



工場見学会 (BEMAC)

FACTORY TOUR (BEMAC)

みらい工場見学会



■ 操船シミュレーターで操縦体験

BEMACの工場見学会では、近未来的な外観が特徴的な社屋と組立工場が一般開放されました。

創業当時の歴史を学べる「みらいミュージアム」では、BEMACのこれまでの歩みや船内の電気工事の様子、配電盤の構造などについてわかりやすく展示されており、次世代船舶支援ソリューション「MaSSA-One」のコンセプトも学ぶことができました。

工場内では国内トップシェアを誇る電気設備の組立て現場を見学することができました。

中でも一際人気を集めたのが操船シミュレーター。子どもたちは画面に釘付けとなり、一生懸命に舵を切っていました。

屋外には電動三輪自動車も展示され、フォトスポットとして人気を集め、大いに盛り上がりました。



工場見学会 (眞鍋造機)

FACTORY TOUR (MANABE ZOKI)

波止浜工場見学会



■初開催の工場見学会

今回から初めて眞鍋造機でも工場見学会が開催され、合計6社による工場見学会となりました。

当日は、社屋とクレーン等の部品を製造する工場が一般開放され、多くの子どもたちが見学しました。

社屋では子どもたちに大人気のミニクレーンが展示され、子どもたちはわくわくしながら操縦していました。

また、工場では実際に稼働する機械を間近に見ながら、主力製品であるウインチの歯車が出来上がる様子を見学することができました。

他にも景品付きのスタンプラリーも開催され、次回のバリシップも楽しみな見学会となりました。



ビジネスデー体験イベント



■ 海事産業の活力を直接体感

バリシップでは県内の高校や高専、大学などの教育機関と連携して、授業の一環としてバリシップ展示会場や工場を見学して頂き、海事産業界のスケールの大きさや現場を体験してもらう取組みを実施しています。

将来の就職先を考え始める大事な時期にバリシップを通じて海事産業を体感してもらうことで、職業選択の一つに海事産業を加えてもらうことを目的としています。



海の仕事へのパスポート



■ 専門知識を持った講師による出前授業

今治市内の小学校では「ふるさとキャリア教育」を推進しており、地場産業である海事産業についてもテーマの一つとして取り上げられています。

そのような中で、日本海事広報協会にご協力を頂き、実際に海事産業で働いている方を講師として招き、子どもたちに海事産業の仕事を知ってもらう機会を提供する出前授業「海の仕事へのパスポート」がバリシップ期間中に市内小学校で開催されました。

今回は外航船と潜水調査船に乗り組んでいた方を講師としてお招きし、船の上での生活や海底生物など普段聞くことができない貴重なお話に子どもたちは興味津々でした。



ドリームバリシップファクトリー



■ 自分だけの未来の船を造る

今治海事都市構想の基本方針の一つである「次世代の海事人材の育成」。今回のバリシップでも趣向を凝らしたイベントを海事関係の業界団体にご協力を頂きながら開催しました。

今治港は一ばりーのみなとホールでは、日本財団と日本中小型造船工業会との共催による「ドリームバリシップファクトリー」が開催されました。

子どもたちに大人気のレゴ® ブロックを使ったイベントで、海事産業の重要性や船の作り方を映像で学び、「未来の船」を創造しながら自分だけの船を造ります。

当日は子どもだけではなく、大人も真剣にレゴ® ブロックを組み立てる姿も見られるなど、あらゆる世代に船の魅力を伝えるイベントとなりました。



© 2023 The LEGO Group.



バリシップサブイベント

BARI-SHIP SUB EVENT

フネージョ☆魅力発見ツアー



■ 海事産業への女性進出を応援

「フネージョ☆」とは、国土交通省が展開する海事産業界における女性活躍を推進するキャンペーンです。

今回のバリシップでは、四国運輸局との共催により、高校生以上の女子学生と保護者を対象に、バリシップ展示会場と市内造船所を見学できるバスツアーを開催しました。

見学先では女性スタッフによるアテンドを実施するなど、女性目線で海事産業の魅力を伝えるイベントとなりました。



海洋教育体験イベント



■ 海に関する様々な研究成果を披露

海洋に関する幅広い研究を行っている東海大学海洋学部の学生によるバリシップ特別イベントが開催されました。

ブースでは海中を探索するロボットの操縦体験や海洋廃棄物を再利用した動物型ロボット「ワンダフルアニマルズ」の展示が行われました。

また、海藻を使ったハーバリウムを製作できるワークショップも開催され、多くの親子連れで賑わいました。



船の見学会



■ メイドイン今治の船を展示

初回のバリシップより、帆船「日本丸」等の様々な船がバリシップ開催期間中に今治港にやってきました。

今年は市内の造船所で実際に建造された船を市民の方々に知ってもらいたいという思いから、メイドイン今治の船による見学会を開催しました。

「おりんぴあどりーむせと」は、藤原造船所で建造された「海を走る遊園地」と評される子どもたちに人気のフェリーです。普段は岡山と香川の間を航行していますが、バリシップに合わせて特別に生まれ故郷である今治に帰ってきました。

「SIM-SHIP1」は、山中造船で建造された最新鋭の内航貨物船です。デジタル技術を駆使し環境にも優しいこの船はバリシップ前日に竣工し、そのまま今治港にやってきました。

「おりんぴあどりーむせと」の船内では、地元の波方海上技術短期大学校と弓削商船高等専門学校ブースを設置し、船内見学者に対してロープワーク等の体験イベントを実施しました。

また、25日(木)には帆船「みらいへ」も寄港し、バリシップに華を添えました。





BEMACはふねのそうさがたのしかった。てんじかいじょうはふねのつくりかたがたのしかった。新来島どっくはおおきいふねのしたがプロペラもおおきくてびっくりした。



ぼくは、はじめてバリシップにさんかしました。ドキドキしてわくわくしてたのしみにしていました。こうじょうの人やてんじかいじょうの人たちがわくわくおしえてくれてとてもたのしかったです。またつぎもさんかしたいです。たのしみにまっています。ドローンのそじゅうがでできなかったのがくやしかったです。



ひがきぞうせんでスタンプラリーをしました。ふねのなかにはいろいろなへやをみることができました。たのしかったです。BEMACででんきじどうしゃにのってしゃしんをとりました。ふねのそじゅうがおもしろかったです。ピエロがハートのステッキをつくってくれました。てんじかいじょうでは、いろをぬったり、かんバッチをつくったりふねをつくったりしました。たのしかったです。はじめてバリシップにいったけどほんとうにたのしかったです。またいきたいです。



さいしょにBEMACみらい工場へ行って船のうんてんができるへやでうんてんをしました。なかなかむずかしかったです。つぎにバリシップてんじ会場へ行って船にかんけいする会社がたくさんあっておどろきました。外国の会社もありました。つぎに公園でお弁当を食べてから新くるしまどっくへ行きました。車をはこぶ大きな船をつくっていました。どのくらい大きかったかという体いくかんより大きくて人が1万人くらいのれるんじゃないかと思いました。かいだんをいっぱいおりて船のそこを見ました。はじめて見たのでこんなになっているんだなと思いました。あんなに大きな船が広い海にうくのはとてもふしぎだなと思いました。船の後ろには大きいせんぶうきのようなものがありパパがスクリューだとおしえてくれました。



あんなにおおきなふねをちかくでみたのははじめてでした。ふねがおおきくてずっとうえばかりみていたらくびがしびれました。ふねもおおきかったけどプロペラもみたことないくらいおおきくておどろきました。とくにうしろがわのプロペラはまえについているものよりとてもおおきいのでうしろのプロペラのほうがだいじなのだろうなとおもいました。ふねのうんてんゲームはむずかしくてイルカをよけることにむちゅうになってゴールできなかったのがくやしかったです。でもとてもたのしい一日でした。しゃしんをとってかんバッチにできたのはすごくうれしかったです。



船のエンジンが車100だいぶんということをはじめて知りました。ほかにいろいろなことを知りました。火じがおきた時のひなばしよもありました。ふだん見られないところも見られて本当にたのしかったです。船のしくみがすごくわかりました。イベントをしながら見学できてすごかったのしかったです。いろいろなイベントの人やバルーンアーティストの人がやさしくしてくれてうれしかったです。いろなばしよをわかりやすく見学できてとても楽しかったです。



はじめてパリシップに行きました。エジyouでゲームやクイズをしました。かんバッチを作ったり、船をうごかすきかいをそうさしたりしました。いろんなしごとがあつてみんなできようかして大きな船ができることがわかりました。



ぼくはパリシップに行きました。サッカーのゲームや船の見学をしたりしました。とくにフジグランでしたポンポンレースが楽しかったです。レースで1位を取ったらコップがもらえるので2回しました。でも当たらなかったです。また2年後もしたいです。クリス社長を見つけるのがむずかしかったです。



見学して一番すごいなと思ったことはときわ小学校くらいの大きな船があつたことです。ときわ小学校くらいの大きな船が今治にあるなんて知らなかったのでびっくりしました。次にすごいなと思ったことは船を動かすきかいがあつてそれを動かすのがとてもむつかしくてびっくりしました。船にはたくさんのひみつがあるのだなと思いました。楽しくスタンプラリーやおかしをもらいながら船のことがよくわかつてとてもうれしかったです。船にきょう味をもちました。



今日、パリシップに行きました。いろいろなおかしや船のもけい、ファイル、エコバッグをもらいました。多くの人やエネゴりんがいました。はじめにうしおれいねつかぶ式会社に行って次にテクサポートに行き、さい後にフジグランに行きました。とても楽しい一日でした。クリス船長がいたので楽しかったです。



はじめに今ぱりぞう船に船の見学に行きました。とても大きな船でした。エンジンルームではボタンがたくさんありました。工場の中はとても広くていどうが大へんだと思いました。つぎにうしお冷ねつに行きました。きかいで風をおこしてほくのぼうしがとんでいくぐらい強かったです。そのつぎにてんじかいじように行きました。船を作る会社がありました。水中ドローンの会社もあつてすごかったです。ポンポン船レースもとてもおもしろかったです。ぼくの家まわりにも船を作る会社があります。つぎはちがう会社も見学したいなと思いました。



展示会場ではどの会社も他の会社にはまねできないようないいところがあつてかっこよかったです。水で物を切ることができるきかいて作っている会社があつて「切れない物がない。」と言っていたのでおどろきました。チョコレートとかもわらずにきれいに切れていてすごいなと思いました。船長さんのぼうしをかぶつて写真を撮りました。その写真でかんバッチを作りました。とてもかわいくかっこよくできていてうれしかったです。大切に使いたいとおもいました。ギネス世界記録のしょうをもらっている会社もありました。最も多く船のプロペラの部品を作っているからもらったそうです。世界記録だからすごいなと思いました。金色の部品をさわらせてもらいました。とてもかたくて、大きくて作るのに大変そうだったので「それをたくさん作るなんて!」とおどきました。びっくりすることがたくさんあつて楽しい体験ができました。最高でした!!うしお冷熱さんでトイドローンのそうさを初めてしました。むずかしかったけどとてもおもしろかったです。風がたくさん出るきかいは弱いほうと強いほうがあつて強いほうは風で服がなびいていておもしろかったです。うしお冷熱さんの社員の人たちがとても親切にしてくれました。



パリシップに行く前は何をするのかと思っていただけに行ってみると楽しかったです。スタッフの人たちがいろいろおしえてくれたので楽しく参加できました。初めに株式会社新来島どつく大西工場に行きました。船が大きくてビックリしました。けんぞう中の船を下から見ました。おちてきたらこわいなと思っていましたがおちてこないようにしていたので近くで見られて楽しかったです。それからパリシップ展示会場に行きました。人が多くてまいごになりそうでした。スタッフの人が青のTシャツを着ていたのわかりやすくてよかったです。ちょっとむずかしかったけど船のおもちゃを作って楽しかったです。最後にBEMAC株式会社みらい工場に行きました。船の中の機械がありました。とくにビックリしたのはコンセントがいっぱいあったことです。バルーンアーティストの人に風船を作ってもらったのでうれしかったです。



ひさしぶりにかいさいされるパリシップに行くのを楽しみにしていました。最初はBEMACに行きました。初めに工場の見学で船の機械の説明をしてくださいました。たくさんのスイッチや計器があって船を動かすのにこんなにあるのでびっくりしました。次に行ったテクスポートではたくさんのきぎょうがあってとくに気になったのはアンテナのようなものにとうめいのカバーをつけている物が気になりました。最後は新来島どつくに行きました。新来島どつくでは船底を見ました。あまり見ないので見られてよかったです。でも、船の中に入ってみたかったです。またパリシップに行きたいです。



うしお冷熱ではペンギンを見たり強い風を体験したりしました。スタンプを4つ集めてグルメをゲットしました。テクスポートでは写真をとってかんバッジを作りました。また、色々な会社を回りました。パナマや他の県のブースがありました。ポンポン船レースでは1位をとれてしょう品をもらいました。ひがき造船では新造船を見学しました。ふだんは見ることができない所を見られて良かったです。2年後のパリシップも行きたいです。



私はパリシップ見学会で心に残ったことが3つあります。1つ目はBEMAC株式会社で体験した船のそうじゅうぎじ体験です。前に海と日本のプロジェクトで体験をしたときよりとても上手にできました。2つ目は展示場で缶バッジを作ったことです。作った缶バッジを父と母に見せたらかわいいと言われて少してれました。とてもうれしかったです。3つ目は今治造船株式会社に行って消火器の訓練をしたことです。学校のひなん訓練で6年生がやっていたので実さいに見たことがあります。上手に火のパネルをたおせたのでよかったです。他にももしろかったことは展示会場でしていたポンポン船レースをみたことです。予想で1位の船を当てることはできませんでしたがとてももしろかったです。今日は本当に色々な体験をすることができました。どうもありがとうございました。



ぼくは今回初めてパリシップに参加しました。まず学校からバスで「潮冷熱」と言う船のエアコンやエレベーターを作る会社に行きました。そこで小型ドローンのそうじゅう体験ができたのがむずかしかったけど楽しかったです。次に行った今治造船ではまだ作っているとのぼら積船を見学しました。車のエンジンの100倍馬力があるエンジンが船の中にあると聞いてびっくりしました。最後に行った展示会場では船のシミュレーターを体験しました。ふだんできない体験をたくさんできてうれしかったです。また次回も行きたいです。おりんぴあどりーむせと号の見学をする時かんバッジをもらえてうれしかったです。ドローンのそうじゅうがむずかしかったです。そうだ室に入ったら新しくきれいでした。見たことない機械が見られてわくわくしました。



今治造船で船の中の機械を見たときが1番心に残りました。車の何倍などと例えを出してくれてとても分かりやすかったです。船があまりにも大きかったので今どのあたりを見学しているのかが分からなかったです。船には、とても大きな機械やボタンがたくさんありました。わたしには理かいするのがむずかしいものがたくさんありました。また船には人を助けるうきわやきゅうめいボートが用意されていてもしものことを考えて必要なものだけのせているのだと思いました。今回行ったところには、体験する場所や説明を聞く場所などがあったとても楽しかったです。今度このようなイベントがあったら行きたいなと思います。



ぼくは土曜に「パリシップ見学会」に行きました。まずはBEMACみらい工場に行きました。ここでは船の中の機械を作って月に50台ほど作っているそうです。次に展示会場に行きました。ここでは色々な企業がせんでんをしていました。他にも外国の企業もいてぼくはこれは「とてもすごいイベントなのだ」と思いました。最後に新来島どつくに新造船を見に行きました。その船は全長約319m、高さ50mくらいでとても迫力がありました。ぼくは今迄をあらためてすごいところだなとおもいました。



今までに船を造っているところを見せてもらうことはなかったのでうれしかったし勉強になりました。テレビで船の大きさなどが言われることはありましたが実際に見てみて思ったより大きくてびっくりしました。工場はとても広くてたくさんの部分に色々なメモがあってこれだけ複雑なのかなと思いました。またパリシップ展示会場では船の色々なことについて学ぶことができました。興味深いものもあって船への興味はわいてきました。最後に小さな部品を作っている工場内を見学させていただきましたが色々な形をした機械で様々な形の部品を作っていて船の中には色々なものが入っていることがわかりました。今回はとてもおもしろかったのでまた行く機会があれば行きたいです。会社の人から聞いた普段聞けないような話がおもしろかったです。



私は今回のパリシップに参加してとても楽しく行って良かったと思います。檜垣造船ではもうすぐ海に浮かべられる船に乗ることができました。運転席ではボタンやモニターレバーがあり、どれが何をするためのものなのかさっぱりわかりませんでした。他にもパーツの組み立てクレーンの持つことができる重さなどたくさんのことを知ることができました。パリシップ会場では実演してみたりおかしをいたるところでもらったりしました。セミナーでは今治のことをたくさんほめてくれていてほこらしいなと思いました。潮冷熱株式会社ではバルーンアートを見たりガラスアートを見たりSpot Cooler風神の神風体験をしました。パリシップの魅力は実際に行って体験してみないと今分かりません。色々な人に2年後ぜひ行ってみてくださいと言いたいです。



私は檜垣造船工場へ行ってすごいなと思いました。船の中は部屋などがあり電話が2つあってびっくりしました。色々な物があってすごいなと思いました。船を造る人も大変なのだとならためて感心し勉強になりました。また2年後のパリシップも行きたいなと思いました。家族のみんなもバグを貰って満足していました。私も船のことが色々学べてよかったです。クレーンも船もいっぱいあって大きくてすごかったです。これからもっと船の事を知りたいなと思いました。スタンプラリーが面白かったです。後、先輩や同級生と仲良くなれてよかったです。色々なことが面白かったです。



檜垣造船を見学して本当に技術の授業で習っていることそのままだと思いました。印付→曲げる→小組立の順番で行っていることが解りました。一つ気になったのは実際に働いている人がどのようなことをして技術を身につけるのかなと思いました。また、とにかく全てにおいて規模が違うと思いました。クレーンを240tまで載せれるし、工場もとても広かったです。特別講座では新しい革新的なものがあれば宗えて、高収入な人を出したら自然と人がよってくるという内容が心に残りました。今回のイベントでほかにももっと学べたことがありました。この恵まれた環境にある今治市を市民の一員として活性化していきたいと思いました。今回はありがとうございました。



今回のパリシップでの檜垣造船波方工場で見学して学んだことは、大きく分けて2つあります。1つ目は1つの船を造るにあたって時間と労力がかなり種類によっては1年近くで完成することに驚きました。また船を造るのに専用の技者がいないと造れないのでこれから少なくとも大丈夫かなと思いました。2つ目は船の中の操縦席です。完成前の船の中の様子を見せてもらった時に操縦席を見てこんなち密な機械を船乗りの人はわかって判断しているのはしんどいのではないのかなと思いました。セミナーで学んだことはコンピュータが偉大ということです。セミナーを聞く中で今治の船造りにコンピュータが合わさると今よりも航海が目視するより安全になり船を造ることの人手が不足なくなると思いました。船員の中でも上下関係があり、とても厳しいことが新しく分かりました。また、毎年世界中で新種の魚などが見つかることに驚きました。

参加者まとめ

SUMMARY OF PARTICIPANTS

バリシップ2023参加者数 (単位:人)

■令和5(2023)年5月25日(木)~28日(日)

行事	内容	25日(木)	26日(金)	27日(土)	28日(日)	合計
バリシップ2023	開会式	1,200				1,200
	展示会	4,818	3,866	8,050		16,734
	SIM-SHIP見学会	800	1,000	1,500		3,300
	フォーラム、特別セミナー等		3,896			3,896
	ウェルカムパーティー	860				860
	小計					25,990
サブイベント	工場見学会			9,070		9,070
	ドリームバリシップファクトリー			601	369	970
	船の見学会	530		2,460		2,990
	フネージュ☆魅力発見ツアー			36		36
	海洋教育イベント	141	136	970	800	2,047
	キッチンカーイベント	1,302	1,114	2,614		5,030
延べ参加者数						46,133

※人数は、各行事の延べ人数です。 ※展示会来場者は、再来場者・出展社を含んでいません。

展示会規模

■出展社数 351社 (国内283社、海外68社)

■出展した国・地域 15

【海外内訳】 アメリカ、イギリス、オランダ、カナダ、韓国、キプロス、シンガポール、中国、デンマーク、ドイツ、日本、ノルウェー、パナマ、フィンランド、ポーランド
<ナショナルパビリオン> デンマーク、ポーランド

■会場使用面積 3,503㎡

経済波及効果

経済波及効果	事業費に対する経済効果		参加人数(延べ)
	直接効果	間接効果	
6億2,113万円	4億1,411万円	2億702万円	46,133人

※直接効果…主催者事業費+バリシップ展示会参加者・工場見学会、その他サブイベント参加者の消費額

(県外からの財やサービスの調達が見込まれる分は除く)

※間接効果…直接効果によって県内の各産業にもたらされる生産誘発額+参加者による消費の増加や生産誘発によって生じる雇用者所有の増加分が、新たな消費に向けられることによって県内産業にもたらされる生産誘発額



バリシップ2023 開催報告集

発行日 令和5年10月

発行 今治市海事都市交流委員会
(事務局 今治市産業部産業政策局産業振興課)

印刷 株式会社ハラプレックス